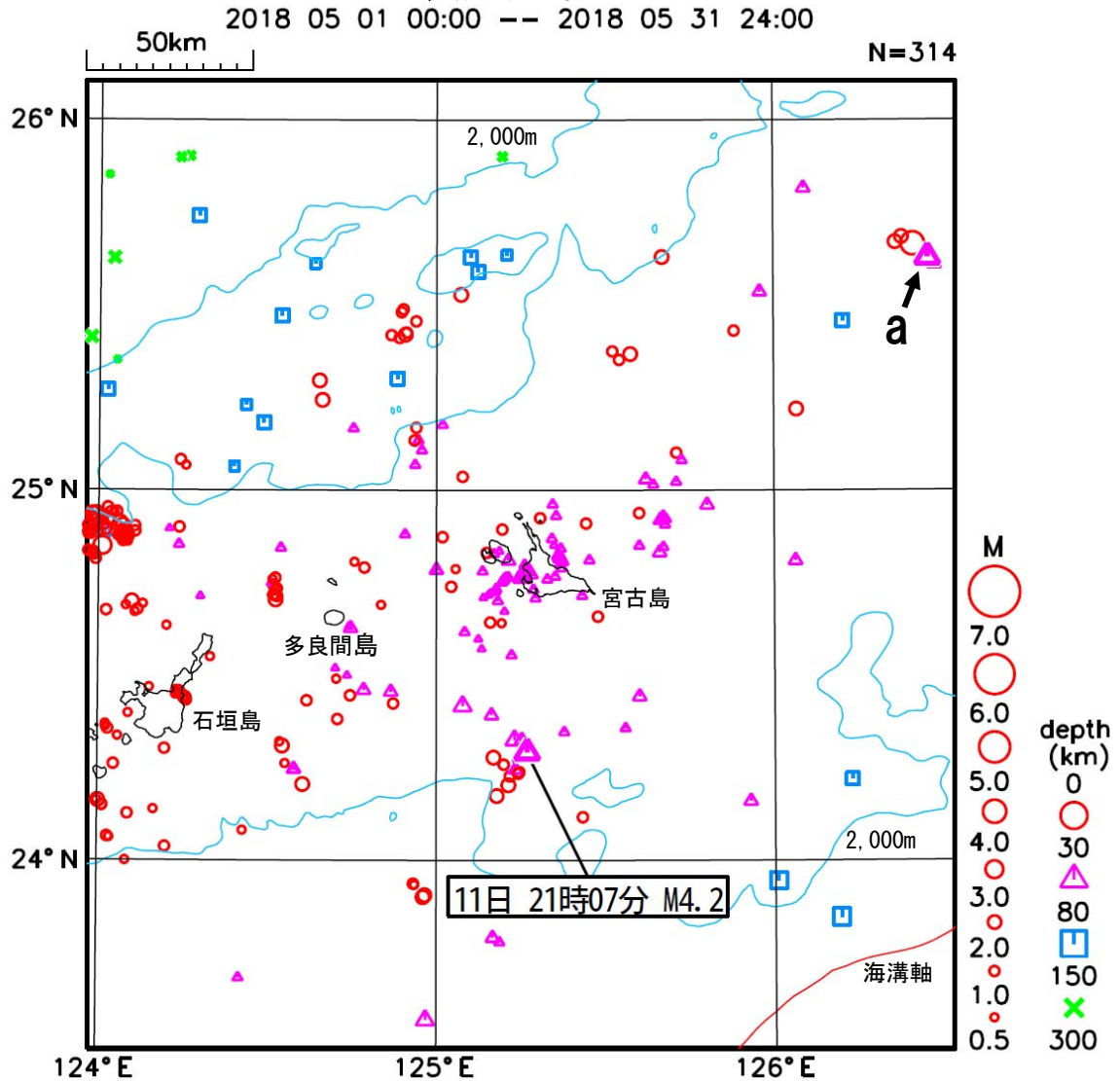


宮古島地方の地震活動図

2018年（平成30年）5月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です。）
管内で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、宮古島地方で観測した地震は314回（4月203回）で、震度1以上を観測した地震は1回（4月0回）でした。

11日21時07分に宮古島近海（宮古島の南約60km）で発生した地震（M4.2）により、宮古島市で震度1を観測しました。

今期間最大規模の地震は、25日04時15分に沖縄本島近海で発生したM4.5の地震でした（図中a）。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:5月1日~31日)

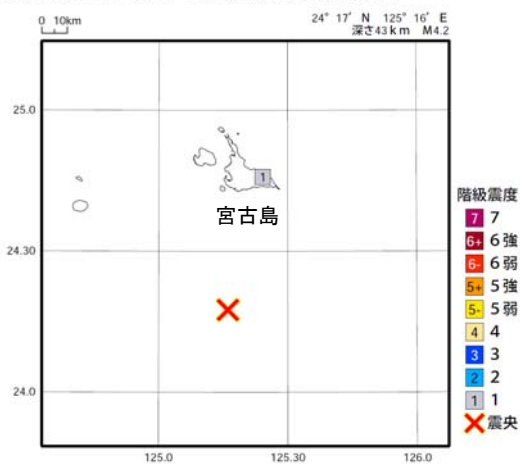
震源時 各地の震度	震源地名	緯度	経度	深さ	規模
2018年05月11日21時07分 沖縄県 震度 1 : 宮古島市城辺福北	宮古島近海	24° 17.5' N	125° 16.1' E	43km	M4.2

※ 資料中のデータについて

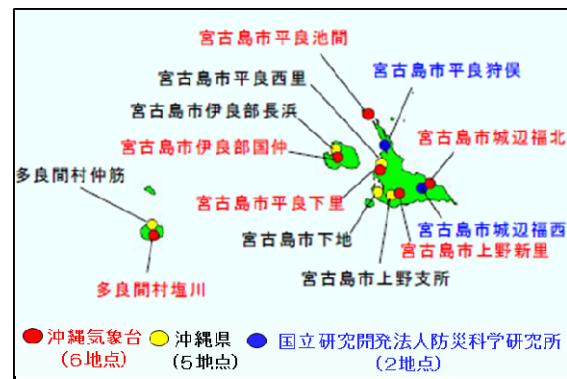
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震緊急観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

2018年5月11日21時07分 宮古島近海の地震の震度分布図



宮古島地方の震度観測地点



過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL <http://www.jma-net.go.jp/miyako/katsudo/katsudo.htm>

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054
(地震・津波に関する出前講座を実施しています。)



知っていますか 地震や津波^{※1}の情報（2）

気象庁は地震発生後、新しいデータが入るにしたがって、順次以下のような情報を発表しています。

地震情報

地震情報の種類	発表基準	内 容
緊急地震速報（警報）	地震波が2点以上の地震観測点で観測され、最大震度が5弱以上と予想された場合	・地震の発生時刻、発生場所（震源）の推定値、地震発生場所の震央地名 ・強い揺れ（震度5弱以上）が予想される地域及び震度4が予想される地域名（全国を約200地域に分割） ^{※2}
震度速報	・震度3以上	地震発生約1分半後に、震度3以上を観測した地域名（全国を188地域に区分）と地震の揺れの検知時刻を速報。
震源に関する情報	・震度3以上（津波警報・注意報を発表した場合は発表しない）	「津波の心配ない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加して、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。
震源・震度に関する情報 ^{※3}	・震度3以上 ^{※4} ・津波警報・注意報発表または若干の海面変動が予想された時 ・緊急地震速報（警報）を発表時	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、震度3以上の地域名と市町村毎の観測した震度を発表。 震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。
各地の震度に関する情報 ^{※3}	・震度1以上 ^{※4}	震度1以上を観測した地点のほか、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。 震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表。 ^{※5}

※1 津波の情報に関しては、4月号を参照願います。

※2 具体的な予測震度と猶予時間は発表しません。

※3 気象庁防災情報XMLフォーマット電文では、「震源・震度に関する情報」と「各地の震度に関する情報」はまとめた形の一つの情報で発表します。

※4 気象庁ホームページでは「震源・震度に関する情報」及び「各地の震度に関する情報」について、どちらかの発表基準に達した場合に両方の情報を発表しています。

※5 地震が多数発生した場合には、震度3以上の地震についてのみ発表し、震度2以下の地震についてはその発生回数を「その他の情報(地震回数に関する情報)」で発表します。

地震情報

地震情報の種類	発表基準	内 容
遠地地震に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ マグニチュード7.0以上 ・ 都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合 	国外で発生した地震について、地震の発生時刻、発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を概ね30分以内に発表。 日本や国外への津波の影響についても記述して発表。
その他の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合など 	顕著な地震の震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度1以上を観測した地震回数情報等を発表。
推計震度分布図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震度5弱以上 	観測した各地の震度データをもとに、1km四方ごとに推計した震度（震度4以上）を図情報※6として発表。

※6 図情報の事例

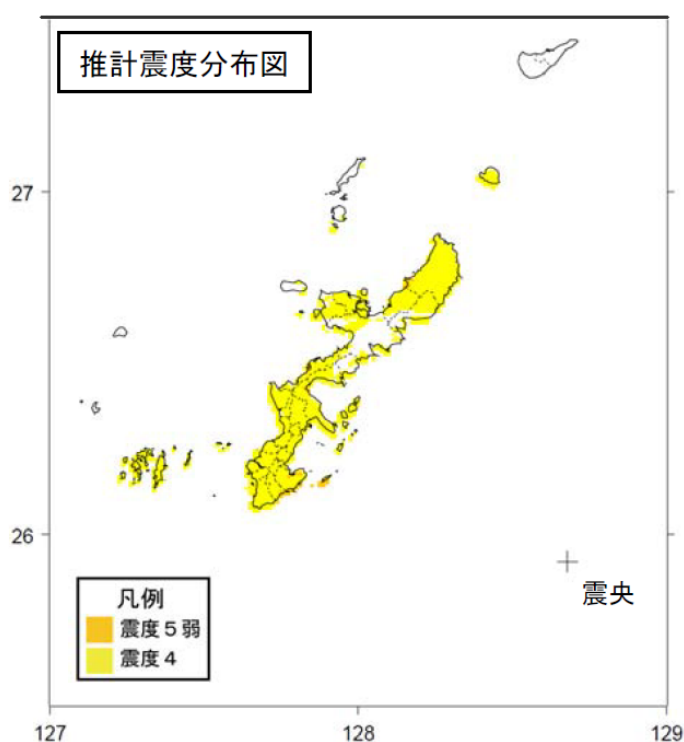


図: 2010年2月27日の沖縄本島近海

■ 地震から身を守るために

緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたりしたら・・・
「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」